

いそべとしえ

県政レポート



暑さが厳しい時期となりましたが、みなさまお元気でお過ごしのことと存じます。県議として二期目のスタートをきらせていただき、連日様々なことに取り組んでいるところでございます。この度は一人会派が7名となり、今まで以上に多様な考えや課題を知ることができ、充実した毎日を送っております。一般質問などの制約はあるものの、私が希望した委員会（産業観光委員会）にも所属することができ、常に市民の声に耳を傾け、話しやすい相談しやすい県議として、みなさまの期待に応えてまいりたいと思っております。引き続きあたたかく見守っていただきますよう、よろしく願いいたします。猛暑のみぎり、体調を崩されませんようご留意ください。

市民の声

これまでに起きた小さな変化

投票率UPのために、もっと投票しやすい場所や方法はないのですか？

市民の皆様より上記の質問を頂いてすぐに山口県選挙管理委員会に県内の投票環境を確認してみました。合併などの影響もあり、様々な方法を取り入れている自治体があることがわかりましたのでお知らせいたします。特に車を運転しない・足が悪い等高齢者の方のための工夫が取り入れられているケースが多かった印象です。



そもそもなぜ投票率UPが重要なのですか？

投票するためには投票所へ出向かなければならないし、誰に投票するか考えないといけないので「面倒だ」と思う人もいるかもしれません。しかし、選挙は私たちの社会や生活を良くするためには欠かせないものです。選挙は、私たち国民や住民が参加し、主権者としてその意思を直接政治に反映させることができる、重要で唯一の機会です。

投票率UPの為の取組

- 移動支援・・・タクシーチケット・巡回バス・路線バス・公用車などを活用（県内6市）
- 移動期日前投票所・・・（県内4市）
- 期日前投票所・・・駅や商業施設などへ設置（県内7市）
- 共通投票所（参考）・・・市内のどこの投票所でも投票可能となるが、二重投票の課題もあり、なかなか進んでいないのが現状（全国20か所～30か所）

光市では、市内33か所の投票所が設置されているが、まだ上記のような手法は取り入れられていないのが現状。しかし、議会などから意見が出されているので、早期に実現できるよう検討中と聞いている。すべての世代の方々が投票に行きやすくなり、投票率UPに期待したい。

令和5年度6月補正予算

◆予算編成の考え方◆

- * 本年3月に決定された国の物価高騰対策を受け、LPガス利用者や特別高圧電力の受電事業者等の負担軽減を図るほか、肥料や飼料価格の高騰への支援等きめ細かな追加対策を実施する。
- * 当初予算で措置した緊急対策の早期実施、国・市町等の取組とも連携しながら、現下の物価高に対して、引き続き機動的に対応し、県民生活の安定と傷んだ社会経済の再生を図る。
- * 当初予算編成後の状況変化に対応するため所要の予算を講じる。

(単位 千円)

事業名及び事業概要	補正額
I 生活者への支援	1,404,006
◆ LPガス料金上昇負担軽減事業 (消防保安課) LPガス料金上昇の影響を受ける一般消費者や業務用利用者の負担軽減を図るため、利用料金の一部を支援	1,393,756
◆ 防犯対策の充実強化による県民生活支援事業 (警察本部) 物価高騰下における県民生活の安心・安全を確保するため、自治会等が防犯カメラを設置する費用を補助	10,250
II 事業者への支援	3,630,548
◆ 中小企業電気料金高騰対策支援事業 (産業政策課) 電気料金上昇の影響を受ける中小企業等の負担軽減を図るため、特別高圧契約の電気料金の一部や蓄電池導入を支援	2,419,465
◆ 賃上げ環境整備応援事業 (労働政策課) 賃金引上げとあわせて、仕事へのやりがいや会社への貢献意欲を高める職場環境づくりに取り組む中小企業者等を支援	120,583
◆ 肥料価格高騰対策支援事業 (農業振興課) 持続可能な農業経営の実現を促進するため、農業者に対し肥料価格高騰分の一部を支援	263,000
◆ 配合飼料価格高騰対策支援事業 (畜産振興課) 畜産経営の継続を図るため、生産者が負担する配合飼料購入費の一部を支援	795,000
◆ 輸入粗飼料価格高騰対策支援事業 (畜産振興課) 酪農経営の継続を図るため、生産者に対し輸入粗飼料価格高騰分の一部を支援	32,500
合 計	5,034,554

近年の気候変動で、島田川から田んぼへ取水する状況に不安がある

平成30年、島田川の豪雨災害で大きな被害が発生したため、県は従来の河川改修計画を見直し大規模な改修が行われました。川沿いに住んでおられる方々にとって安心材料にもなっていると思っておりましたが、今回島田川上流部エリアの川床の影響を懸念する声を頂きました。



まずは現状把握が第一！現場へ Go!!!

田植えをされる前に島田川の現場へ行き、懸念される状況を確認。河川から用水路に水を引く「取水」について、近年の気候変動の影響もあり、水の確保に不安があることも歪めない事実と感じました。現状での不安を解消するための手法をお伝えし、今後は一次産業の発展、特に地産地消を推進していくためにも、次世代に繋げていく取り組みに力を入れていただくようお願い致しました。



島田川から取水している場所

自然豊かな「ふるさと」を未来に残そう！

田んぼや畑などの農地には、水を届けるための農業水路がつくられており、河川やため池から遠くても水を運ぶことができる。

それはみなさんの生活にも役立っており、様々な活用された水は、やがて川や地下に戻り、植物を育て生物を育む循環型社会。自然豊かな山口県ふるさと光の現状、これからもしっかりと確認していきたい。

国・山口県の主な取組等

■国の水素関連政策の主な動き■

今年6年ぶりに改定された国の水素基本戦略において、「水電解装置」など我が国が強みを持つ9つの分野を戦略分野に指定し、重点的に取り組むことが示され、水素関連技術に取り組む企業に対して期待が高まっています。

■「水素先進県」実現に向けた山口県の取組■

本県では、周南地域の苛性ソーダ工場から純度の高い副生水素が大量に供給可能という特性を活かし、一般家庭で水素による発電・給湯を行う実証試験を全国に先駆けて実施するとともに、「アルカリ水電解装置」など先進的な水素関連機器の開発・事業化に対し支援するなど、長年、水素に関連する取組を進めてきました。

本県においても、国の取組を追い風にして、「水電解装置」をはじめとした水素関連製品の部材開発等に取り組む県内中小・中堅企業を支援することにより、水素関連分野への参入を促進するとともに、関連製品の高性能化やコスト低減にも繋げていきます。



今、日本の伝統文化が世界中から注目！

大リーグの大谷翔平選手 (LAA) の活躍によって日本の伝統文化が世界中で注目を集めています。ホームランを打った後に行われるパフォーマンスでは、日本の兜を被り、喜びを分かち合う光景を連日ニュースでも目にする機会が増えてまいりました。世界中に日本の伝統文化を発信して頂き日本人として誇らしく思います。



着物ショーの開催

機会があれば着てみましょう！



私が会長を務める国際ソロプチミスト光のチャリティーイベント「大空の祈り」が5月28日に開催されました。本手描友禅金彩工芸作家「秋山章」の作品の着物ショー&ミニコンサートという内容でしたが、圧巻の美しさで素敵な思い出になりました。

日本の伝統文化を存続させるには、まずは存在を知ってもらい、体験してもらうことが重要

改めて説明すると着物は日本の伝統的な民族衣装。色とりどりの色彩を使い描かれる模様は芸術品のようで美しく、日本の美意識の象徴といえます。着物には礼装や訪問着、普段着などの格付けがあり、場面によって着用する種類が決まっているのが特徴です。また、四季に合わせて着物の素材や模様、色を選ぶのがマナーとされ、着物そのものが美しいだけでなく、帯や草履、足袋、かんざしなどの小物の組み合わせも楽しめるのも着物の魅力の一つです。



編集後記

毎議会ごとに、各会派の入り口には季節の花が生けられています。朝の通勤ラッシュを避けるため、早めの出発を心がけているのですが生けられた花に毎回癒されています。蒸し暑い夏を乗り越えるためにも、体力向上と共に、気持ちの豊かさも身近な草花で整えていきたいです。

お気軽にどうぞ

いそべとしえ 検索

日々の活動をホームページにて更新中！是非ご覧くださいませ。

お問い合わせ

いそべとしえ事務所

☎0833-57-0205

〒743-0009

山口県光市室積松原 17-12

(受付：平日午前9時～午後5時)

